

# 玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年12月

玉村町

## 目 次

1. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付け.....	1
(1) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景.....	1
(2) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的.....	1
(3) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた基本目標.....	1
(4) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間.....	1
2. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針.....	2
(1) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針.....	2
(2) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策体系.....	3
3. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と施策.....	4
(1) 政策分野：地方における安定した雇用を創出する.....	4
(2) 政策分野：地方への新しい人の流れをつくる.....	8
(3) 政策分野：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	12
(4) 政策分野：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する.....	16
4. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進と検証.....	20
(1) 総合戦略の実現に向けた取り組み.....	20
(2) 計画的な推進と検証に向けたPDCAサイクルの導入.....	20

## 1. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付け

### (1) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景

人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中の是正、将来にわたる活力ある社会の維持を目指して、平成 26 (2014) 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定された。

平成 26 (2014) 年 12 月には、我が国の人口の現状と目指すべき将来の姿を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を基本的な考え方とした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。

「まち・ひと・しごと創生法」では、国が示した総合戦略に基づき、市町村は地方版の総合戦略の策定に努めるべきとされ、「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、同法第 10 条の規定に基づき策定している。

### (2) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的

玉村町は、周辺都市のベッドタウンとして人口を増やして発展してきたが、最近は人口減少がはじまりつつある。現状のまま推移すると、人口減少や少子高齢化が急速に進行し、まちが衰退していく可能性がある。「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、こうした事態に陥ることがないように、人口減少への対策とまちの発展に向けた道筋を示すことを目的としている。

### (3) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた基本目標

「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、下記の 4 つの政策分野について、基本目標を設定した。

#### 【4つの政策分野】

政策分野 1 : 「地方における安定した雇用を創出する」

政策分野 2 : 「地方への新しい人の流れをつくる」

政策分野 3 : 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

政策分野 4 : 「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

### (4) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間

国の総合戦略を踏まえ、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とした。

## 2. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針

### (1) 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定方針

#### 1) 高崎玉村スマート I C 開設や東毛広域幹線道路整備を活用したまちづくり

平成 26 年 2 月に高崎玉村スマート I C が共用開始となり、さらに、平成 26 年 8 月には本町を東西に横断する玉村伊勢崎バイパスが完成し、東毛広域幹線道路は全線開通となった。これらの道路整備により、広域的な交通利便性が向上するとともに、本町から高崎駅東口へのアクセス時間が短縮することとなった。本町では、道路条件の良さを活かし、産業集積を促して雇用機会の創出を図るとともに、交流人口を増やし地域経済の活性化につなげるまちづくりを行う。

#### 2) 3 市に囲まれた地域特性を活かしたまちづくり

本町は、高崎市、前橋市、伊勢崎市といった群馬県の主要 3 市に囲まれ、3 市の通勤・通学圏となっている。こうした立地特性を活かし、3 市の産業集積や都市機能を活用したまちづくりを行う。3 市と本町を連絡する公共交通の充実により、通勤・通学の利便性を高め、ベッドタウン化により人口減少や少子高齢化に歯止めをかけていく。

#### 3) 道の駅玉村宿を活かすまちづくり

平成 27 年 5 月に道の駅玉村宿がオープンし、町内の農産物の販売拠点や来訪者の立寄拠点となることが期待されている。玉村宿が集客性の高い交流拠点となり、町内の農業者や商業者の雇用を支える施設となるよう、物販機能、飲食機能、情報発信機能などを高めていくことが求められている。魅力ある商品・メニュー開発や路線バスの乗り換え拠点化などを進め、玉村宿を活かすまちづくりを行う。

#### 4) 民間と連携したまちづくり

玉村町には、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、フェリーチェ玉村国際小学校など、全国的にも個性が光る民間事業者が立地している。こうした民間事業者と連携して、新たな商品やサービスを開発して、地域の経済循環を回していくまちづくりや、国際教育の充実を図る。さらに、地域特性に応じて土地利用の制約を見直すことで、幅広い民間事業者が進出しやすい環境を整える。民間事業者の進出を促すことで、雇用機会の創出、子育てをはじめとする様々な領域のサービスを充実させていく。民間の力を積極的に活用することで、転入者の増加につなげていく。

#### 5) リデザインを重視したまちづくり

本町には、日光例幣使道の宿場町として発展した歴史文化的資源が残されている。また、本町は小麦の生産地、食肉の流通拠点といった特徴や、麦秋の田んぼや水辺をはじめとする絵になる風景を備えている。こうした地域資源を、現在の新しい消費者ニーズに合せた施設・商品・サービスなどに活用していく「リデザイン」を重視したまちづくりを行う。地域資源の優位性を見直し、関係者が連携して付加価値を高めることで、交流人口の増加や町内事業者の販売増進などにつなげていく。

## (2)「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策体系

玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系は下記のとおりである。

政策分野	施策	施策小項目
1. 地方における安定した雇用を創出する	1) 食によるまちづくりで交流人口を増やし雇用を創出する	①ご当地グルメの開発と販売
		②地域資源を活用した飲食施設の提供
	2) 新たな事業用地の確保により企業の進出を促し雇用を創出する	③町内外の食資源の有効活用
		①東部工業団地の拡張と企業誘致
2. 地方への新しい人の流れをつくる	1) 道の駅の充実により交流人口を増やす	②新たな事業用地の確保と企業誘致
		①玉村宿の飲食機能の充実
	2) 地域資源のリデザインにより、転入者や交流人口を増やす	②玉村宿における新たな機能の提供
		①風景を活用した集客
		②動植物を活用した集客
	3) 土地利用を見直して転入者を増やす	③歴史的資源を活用した集客
		①新たな住宅用地の確保
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1) 子育てしやすいまちづくり	①子育て支援体制の充実
		②国際教育の充実
	2) 家族形成支援の充実	①レクリエーション活動を通じ交流機会の提供
		①農業体験プログラムの提供
	3) 誰もが暮らしやすいまちをつくり移住を促す	②古民家を活用した交流施設の提供
		③「玉村町版生涯活躍のまち」構想づくり
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	1) 公共交通の充実により転入者を増やす	①町民に対するバスの充実
		①サイクリング環境の充実
	2) サイクリングで交流人口を増やす	②サイクリング・バイクの立寄拠点化
		①情報発信に向けた人材の確保
	3) SNS等を活用した情報発信	②情報発信の基盤づくり
		③情報発信のコンテンツづくり

### 3. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標と施策

#### (1) 政策分野：地方における安定した雇用を創出する

##### 【1】基本目標

###### 【基本目標】

玉村町の農業は、稲作が中心ながら農薬散布回数の少ない玉村町産小麦（以下、「玉村町産小麦」という。）や種類豊富な野菜を生産していることが特徴である。また、町内には群馬県食肉卸売市場があり、上州牛や上州麦豚を国内外に提供している。こうした「食」に関する地域資源を活用して魅力あるメニューや商品開発を行い、「食」によって交流人口を増やし、町内の飲食業、食品製造業の雇用創出を実現する。

また、玉村町は高崎市、前橋市、伊勢崎市など県内主要都市に囲まれている。さらに、高崎玉村スマートインターチェンジがあり、関越自動車道や北関東自動車道へのアクセス性にも優れている。こうした特長を活かして企業の進出を促し、雇用創出を実現する。

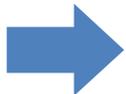
###### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・ 町内の飲食店従業者数（経済センサス活動調査）	427人（H24）	450人（H31）
・ 町内の従業者数（経済センサス活動調査）	14,288人（H24）	14,500人（H31）

##### 【2】施策

###### 1) 「食によるまちづくりで交流人口を増やし雇用を創出する」

玉村町産小麦、種類豊富な野菜、麦豚など玉村町の「食」の地域資源を活用して、魅力あるご当地グルメを開発する。開発したご当地グルメは、道の駅玉村宿や町内の飲食店で提供し、「食」のまちとして玉村町を売り出す。さらに、町内の飲食機能の充実、企業や団体と連携した「食」のまちづくりを進めて来訪者を増やし、農業、飲食業、食品製造業など売上高増加と雇用の創出を目指す。



###### ①ご当地グルメの開発と販売（経済産業課・健康福祉課・経営企画課）

###### 【施策内容】

高崎健康福祉大学、県立女子大学、商工会、食生活改善推進協議会などが連携して、味や香りに優れる玉村町産小麦を使用したご当地グルメの開発や郷土料理の復活を行う。さらに、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、食品メーカーなどと連携して、肉を活用したご当地グルメの開発や講習会を開催する。町内の食材を活用したメニューや商品を開発・販売することで、町内の雇用創出につなげていく。美味しく健康的なご当地グルメや郷土料理の試作品は、道の駅玉村宿などでテスト販売を行い、PRと改善を重ねる。完成したメニューは、道の駅玉村宿、肉の駅、町内の飲食店などで提

供し、来訪者の増加にもつなげていく。

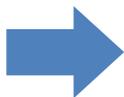
また、玉村町産小麦の活用に向けて、製粉ルートを確保し、ご当地グルメの開発を促していく。さらに、学校給食におけるご当地グルメの提供や「たまむらカレー」のレトルト商品化を進めていく。

#### 【主要事業】

- ・玉村町産小麦や種類豊富な野菜を活用したご当地グルメの開発と販売
- ・麦豚を活用したご当地グルメの開発と販売
- ・「おきりこみ」や「じじやき」などの郷土料理の復活と販売
- ・全国食肉学校と連携した講習会の開催
- ・町内飼料で育てた県産豚・牛を使用した商品ストーリーの研究
- ・玉村町産小麦の活用に向けた製粉ルートの確保
- ・「たまむらカレー」のレトルト商品化
- ・「おきりこみセット」「ホルモン鍋セット」「中華まん」の商品化

#### 【推進体制】

玉村町、商工会、全国食肉学校、食品メーカーなどが「ご当地グルメ開発」の研究會を組織化し推進組織とする。さらに、高崎健康福祉大学の栄養指導・レシピ開発指導、県立女子大学のパッケージデザイン指導を受け、ご当地グルメを開発する。



### ②地域資源を活用した飲食施設の提供（経済産業課・経営企画課）

#### 【施策内容】

美しい夕日を望むことができる道の駅玉村宿に、青空ガーデンを開催し、来訪者を町内に引き込むとともに、町内からの食材調達により地域経済の循環を図る。さらに、町内外の飲食店、食品関連企業などと連携して出店者を募り、シェフやパティシエなどを目指す若者などに実践の場を提供したり、新メニューや商品のPRを行いたい飲食店や食品関連企業などに貸し出すことで、「食」の拠点化を図る。

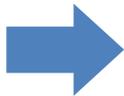
また、風景や古民家などの地域資源を活かした農家レストラン・隠れ家レストランに対する出店支援、玉村町産小麦をはじめ町内の農産物を使用した新商品の「お試し販売」の支援を行う。こうした地域資源を活用した「食」のまちづくりを進めることで、交流人口を増やす。

#### 【主要事業】

- ・青空ガーデンの開催
- ・風景や古民家など地域資源を活かしたレストラン出店に対する支援
- ・道の駅玉村宿等での「お試し販売」の支援

#### 【推進体制】

道の駅玉村宿、商工会、キッチンカー事業者などが推進組織を設置し、青空ガーデンの開催、「お試し販売」の支援を行う。



### ③町内外の食資源の有効活用（経済産業課・経営企画課）

#### 【施策内容】

町内の飲食店、食料品店、食品メーカー等のお勧めメニュー、ご当地メニュー、ご当地食品などについて、SNSなどを活用して情報発信を強化し来訪者を増やす。さらに、玉村町の交流市町村である長野県山ノ内町、群馬県昭和村、茨城県茨城町の特産品を道の駅玉村宿などで販売し、集客力を高める。また、町内の高品質な農産物や商品などの販売促進に向けて、県立女子大学の支援を受けながら地域ブランド化に取り組む。

#### 【主要事業】

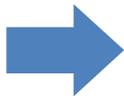
- ・町内の飲食店、食料品店、食品メーカー等の情報発信の充実
- ・SNSを活用したご当地グルメや郷土料理の情報発信
- ・「肉の駅」や全国食肉学校の食肉加工品のPR
- ・交流市町村の特産品の販売
- ・マーケティングや玉村ブランドの立上げに向けた研究

#### 【推進体制】

地域おこし協力隊などの国の制度を活用して人材を確保し、商工会と連携して情報発信を行う。また、玉村町は友好交流都市と相互の特産品販売について協議を行う。地域ブランド化については、商工会が県立女子大学の指導を受けて研究を行う。

## 2) 「新たな事業用地の確保により企業の進出を促し雇用を創出する」

本町は高崎玉村スマートインターチェンジを抱え、高速道路の交通利便性に優れている。町内の市街化調整区域の一部を市街化区域に編入し、新たな事業用地を確保する。交通利便性の良さを活かして、製造業や物流業などの企業を誘致し雇用の創出を目指す。



### ①東部工業団地の拡張と企業誘致（都市建設課、経済産業課）

#### 【施策内容】

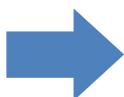
地域経済の活性化と雇用機会の確保に向けて、平成27年6月に東部工業団地の西地区6.3haと東地区6.0haを市街化区域（工業専用地域）に編入した。これらの工業用地に対する企業の進出と操業を促し、雇用の創出を行う。

#### 【主要事業】

- ・中小企業も対象とした企業誘致活動
- ・進出企業に対する固定資産税減免等の支援

#### 【推進体制】

群馬県と都市建設課が連携して、企業誘致活動を行う。



### ②新たな事業用地の確保と企業誘致（都市建設課）

#### 【施策内容】

人口減少に対する歯止めと地域経済の活性化に向けて、長期的な視点に立ち、土地利用の見直しを行う。高崎玉村スマートインターチェンジ、東毛広域幹線道路などを

有効に活用するため、幹線道路沿線地域などの市街化調整区域の市街化区域編入や用途地域の指定を行い、工業系、商業系などの事業用地を確保する。

**【主要事業】**

・群馬県の都市計画定期見直しに向けた土地利用の見直し基礎調査

**【推進体制】**

町が土地利用の見直しに向けた基礎調査を行う。

**【3】重要業績評価指標（KPI）**

1) 「食によるまちづくりで交流人口を増やし雇用を創出する」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①ご当地グルメの開発と販売</b>		
・ご当地グルメの年間売上高	3,600 千円（H27）	10,000 千円（H31）
・全国食肉学校と連携した講習会の受講者数	0 人（H27）	毎年 60 人（H31）
<b>②地域資源を活用した飲食施設の提供</b>		
・青空ガーデンの売上高	100 千円（H27）	1,000 千円（H31）
<b>③町内外の食資源の有効活用</b>		
・玉村町の「食」の紹介 SNS のフォロワー数	50 人（H27）	1,000 人（H31）
・道の駅玉村宿での「ご当地食品」の年間売上高	192,000 千円（H27）	256,000 千円（H31）

2) 「新たな事業用地の確保により企業の進出を促し雇用を創出する」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①東部工業団地の拡張と企業誘致</b>		
・東部工業団地の企業数	0 社（H27）	3 社（H31）
<b>②新たな事業用地の確保と企業誘致</b>		
・土地利用の見直し基礎調査の実施	－（H27）	実施（H28）

## (2) 政策分野：地方への新しい人の流れをつくる

### 【1】基本目標

#### 【基本目標】

平成 27 年 5 月にオープンした道の駅「玉村宿」の集客力を高めるとともに、町内の自然や歴史文化などの地域資源を活用して魅力あるまちづくりを進めることで交流人口を増やし、地域経済の活性化を実現する。

また、玉村町は高崎市、前橋市、伊勢崎市など県内主要都市に囲まれ、雇用機会に恵まれており、これまで周辺都市のベッドタウンとして人口を増やしてきた。土地利用の見直し（宅地の供給）、空き家の活用、地域資源のリデザインなどを通じて、さらに住みやすいまちにして転入者の増加を実現する。

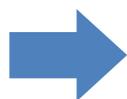
#### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・ 年間日帰り客数（群馬県観光客数・消費額調査）	255,200 人（H25）	600,000 人（H31）
・ 年間転入者数（群馬県移動人口調査）	1,458 人（H26）	1,500 人（H31）

### 【2】施策

#### 1) 「道の駅の充実により交流人口を増やす」

食や風景などで玉村宿の魅力を高めるとともに、道の駅に新たな機能を加えて、人が集まる仕組みをつくり、県内はもとより東京圏からの来訪者の増加を目指す。玉村宿がまちの玄関口となるよう拠点性を高める。



#### ①玉村宿の飲食機能の充実（経済産業課・経営企画課）

##### 【施策内容】

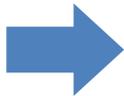
高崎健康福祉大学、県立女子大学、商工会などが連携して開発した「ご当地グルメ」を、道の駅玉村宿で販売する。さらに、道の駅玉村宿において、青空ガーデンを開催する。道の駅玉村宿の飲食機能を充実させることで、来訪者を集め、町内を観光する人々を増やす。

##### 【主要事業】

- ・ ご当地グルメ等の販売
- ・ 青空ガーデンの開催（再掲）

##### 【推進体制】

地域おこし協力隊制度を活用し人材を確保し、道の駅、行政、農業団体、商業団体とが連携し推進体制を作る。



## ②玉村宿における新たな機能の提供（経済産業課・生活環境安全課・経営企画課）

### 【施策内容】

道の駅玉村宿を、町内外の路線バスの運行ルートに組み込むことで、道の駅玉村宿を路線バスの乗り換え拠点（バスハブセンター）として立寄客を増やす。さらに、世界遺産である富岡製糸場などに向かう観光バスの立寄りを促す。立寄客を増やすことで、玉村町の特産品やご当地グルメの販売を増やす。また、道の駅玉村宿が自動車を利用したビジネスマンの一時的な仕事場にもなるよう、コピー機、充電器などを用意してビジネスサポート機能を整える。道の駅玉村宿の機能を充実させ、立寄客を増やすことで、道の駅玉村宿周辺地域の開発を促す。

### 【主要事業】

- ・路線バスの乗り換え拠点化（バスハブセンター化）
- ・観光バスの立ち寄り化
- ・ビジネスサポート機能の導入（コピー機、充電器等の提供）
- ・交流人口の増加に向けた地域拠点機能の強化

### 【推進体制】

玉村町、道の駅、群馬中央バス、永井運輸が連携して、路線バスの乗り換え拠点化や観光バスの立寄りを実現する。さらに、玉村町と道の駅が協力して、ビジネス客の立寄りに必要な設備を整える。

## 2) 「地域資源のリデザインにより、転入者や交流人口を増やす」

自然環境、風景、歴史文化、農作物、特産品、企業、人材などに関する地域資源を再評価し、玉村町のイメージアップと集客力を向上させる。地域資源を組み合わせストーリー性を持たせるなど新たな価値を創出することで魅力を持たせ、転入者や来訪者の増加を図る。



## ①風景を活用した集客（経済産業課・都市建設課・経営企画課）

### 【施策内容】

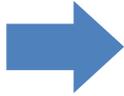
玉村町には、二毛作地帯ならではの变化に富む田園風景（草原のような麦畑の広がり→光り輝く麦秋→早苗の稲田→黄金の稲田）や、寺社や商家などの歴史的建築物の風景などがある。人々をひきつけるこうした風景を町内外に訴求することで、来訪者や転入者を増やし転出者を減らす。また、地域資源を活用した体験プログラムを開発し誘客を図る。

### 【主要事業】

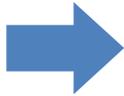
- ・風景写真コンテストの開催
- ・魅力的な風景写真や映像による情報発信
- ・サイクリングロード沿線地域の花による風景づくり
- ・たまむらグリーンツーリズムの展開
- ・景観行政団体への移行と条例による屋外広告物規制

### 【推進体制】

地域おこし協力隊制度を活用し人材を確保し、玉村町住民活動サポートセンター、



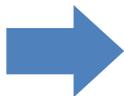
行政、農業団体、商業団体が連携し推進体制を作る。
<b>②動植物を活用した集客（生活環境安全課・経営企画課）</b>
<b>【施策内容】</b> 利根川や烏川の水辺には、野鳥の生息地がある。自然環境の保全に配慮しつつ、野鳥の観察を行う体験プログラムを提供し、町外からの参加者を募る。さらに、玉村町では、ガーデニングしている自宅の庭を一般に開放する「オープンガーデン事業」を実施しており、町外からの来訪者を増やし、玉村町のイメージアップや転入を促す。
<b>【主要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探鳥会の開催</li> <li>・オープンガーデン（自宅の庭の公開）事業</li> </ul>
<b>【推進体制】</b> 玉村町が「岩倉自然公園水辺の森を愛する会」に働きかけて、探鳥会を開催する。さらに、玉村町が玉村町華倶楽部と連携して、オープンガーデン事業の拡大を図る。



<b>③歴史的資源を活用した集客（生涯学習課・経営企画課）</b>
<b>【施策内容】</b> 玉村町は日光例幣使道の宿場町として栄えた歴史があり、町内には蔵や古民家が散在している。蔵や古民家をカフェやショップなどに改修して再利用を促すとともに、蔵や街道を散策する回遊コースやガイドを整えて観光客の受入れ体制を整える。歴史的資源を活用したまちづくりを進めることで、観光客を増やす。
<b>【主要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアガイドの育成</li> <li>・蔵や古民家の再生と活用</li> <li>・蔵や街道を巡る散策コースの整備</li> <li>・日光例幣使道やレンガの建物など歴史の香りを活かしたまちづくり</li> </ul>
<b>【推進体制】</b> 玉村町が中心となり、蔵や古民家の改修に対する支援を充実させる。さらに、商工会と連携し、蔵や古民家を活用したカフェやショップの開業に対して、経営上のアドバイスを行う。

### 3) 「土地利用を見直して転入者を増やす」

周辺環境との調和を図りつつ、新たな宅地の提供に向けた土地利用の見直し、空き家の活用などを進め、転入者の増加を目指す。



<b>①新たな住宅用地の確保（都市建設課）</b>
<b>【施策内容】</b> 市街化の実態に応じて新たな住宅用地を確保するとともに、空き家バンクを設けて、転入者の増加を実現する。新たな住宅用地の確保は、市街化調整区域で一定の要件を満たした地域に対して「大規模指定既存集落（概ね 200 戸以上の建築物が連たん

している集落、戸数密度は10戸/ha程度、優良農地を含まない区域などの基準に該当する必要がある)」の適用を図る。
<b>【主要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模指定既存集落の適用（市街化調整区域における開発）</li> <li>・空き家バンクの創設</li> </ul>
<b>【推進体制】</b> 玉村町が中心となり、大規模指定既存集落の適用と空き家バンクの創設を行う。

### 【3】重要業績評価指標（KPI）

#### 1) 「道の駅の充実により交流人口を増やす」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①玉村宿の飲食機能の充実</b>		
・ご当地グルメ（メニューと食品）年間売上高（再掲）	3,600千円（H27）	10,000千円（H31）
・青空ガーデンの年間来客数	0人（H27）	1,000人（H31）
<b>②玉村宿における新たな機能の提供</b>		
・道の駅玉村宿への路線バス1日当りの経由便数	0便（H27）	4便（H31）

#### 2) 「地域資源のリデザインにより、転入者や交流人口を増やす」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①風景を活用した集客</b>		
・年間日帰り客数（群馬県観光客数・消費額調査）	255,200人（H25）	600,000人（H31）
<b>②動植物を活用した集客</b>		
・探鳥会年間参加者数	0人（H27）	20人（H31）
・オープンガーデンの見学者数	2,500人（H27）	3,000人（H31）
<b>③歴史的資源を活用した集客</b>		
・蔵や古民家再生件数	0件（H27）	1件（H31）

#### 3) 「土地利用を見直して転入者を増やす」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①新たな住宅用地の確保</b>		
・大規模指定既存集落の運用実施	－（H27）	実施（H31）

### (3) 政策分野：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【1】基本目標

##### 【基本目標】

玉村町は、放課後児童クラブをはじめ子育て支援体制が充実しているまちである。さらに、玉村町は国際教育特区に指定されるとともに、群馬県立女子大学の外国語教育研究所が、県民英会話サロン「グローバルカフェ」や高校生を対象とした「塾」を開催し、英語教育に力を入れている。こうした子育てしやすい環境をさらに充実させることで、子育てと仕事が両立できる環境を整備し、子育て世帯の転入増加を図る。

また、玉村町では未婚率が上昇していることから、独身男女に対して出会い機会を提供するなど家族形成支援を行い、結婚したい人々の希望がかなう環境を実現する。さらに、玉村町の暮らしやすさに磨きをかけて、ファミリー層からシニア層までが移住したくなる「生涯活躍のまち」を実現する。

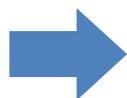
##### 【基本目標に対する数値目標】

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・年少人口（群馬県年齢別人口統計調査）	4,727人（H26）	5,000人（H31）
・婚姻件数	171件（H25）	200件（H31）

#### 【2】施策

##### 1) 「子育てしやすいまちづくり」

子育ての支援体制や児童に対する英語教育などをさらに充実させるとともに、子育てと仕事が両立できる環境を整え、「子育てしやすい国際教育の玉村町」を確立して、転入者の増加を図る。



##### ①子育て支援体制の充実（子ども育成課・学校教育課・健康福祉課）

###### 【施策内容】

玉村町では放課後児童クラブや給食などが充実しており、子育てしやすいまちである。こうした実態をPRするとともに、一時預かり保育、預かり時間の延長など、子育て支援体制をさらに充実させて、乳幼児や児童を抱えるファミリー層の転出防止、転入促進を実現する。加えて、子育てや子育て中の母親に関する相談体制を整え、母親へのサポートを強化する。

###### 【主要事業】

- ・子育てしやすいまちの実態のPR
- ・待機児童ゼロの継続
- ・一時預かり保育、病児・病後児保育の充実
- ・放課後児童クラブの預かり時間等の充実
- ・子育て相談の充実

- ・子育て不安を抱えるママへのケア
- ・子ども発達支援センターの設立
- ・地域子育て支援センターの保育環境の改善

**【推進体制】**

玉村町が中心となり、保育の充実などの子育て支援体制を整える。また、玉村町と高崎健康福祉大学が連携し、子育てママに対する相談体制を整える。さらに、地域おこし協力隊などの制度を活用して、情報通信分野に詳しい人材を確保し、テレワークに取り組む子育てママに対して、情報通信環境の設定等に関する支援を行う。



**②国際教育の充実（学校教育課・生涯学習課・経営企画課・子ども育成課）**

**【施策内容】**

群馬県立女子大学の外国語教育研究所に協力を求めて、町内の小中学生や高校生を対象とした英語教育の講習会を開催する。さらに、小学校におけるALTの配置や町立保育所における英語学習の機会を提供していく。また、フェリーチェ玉村国際小学校と連携し、英語学習やグローバル人材の教育を受けやすい玉村町をPRすることで、ファミリー層の転入促進につなげる。

**【主要事業】**

- ・群馬県立女子大学外国語教育研究所と連携した外国語教育の提供
- ・フェリーチェ玉村国際小学校と連携した「国際教育のまち」のPR

**【推進体制】**

玉村町、県立女子大学、フェリーチェ玉村国際小学校などと連携し、英語学習等の提供に取り組む。

**2) 「家族形成支援の充実」**

独身男女が気軽に参加できるよう、レクリエーション活動などの機会を積極的に設けて、楽しみながら独身男女が親しくなれる交流機会を提供し、未婚率の上昇に歯止めをかける。



**①レクリエーション活動を通じた交流機会の提供（経営企画課）**

**【施策内容】**

スポーツや趣味などのレクリエーション活動に、独身男女の参加を促し、活動を通じた出会いの機会を提供する。また、町内のイベントの企画・運営に際して、積極的に独身男女の参加を呼びかけ、共同作業を通じて交流機会を提供していく。

**【主要事業】**

- ・婚活支援事業

**【推進体制】**

玉村町、道の駅、商工会などが連携し、婚活支援事業に取り組む。

### 3) 「誰もが暮らしやすいまちをつくり移住を促す」

若者から高齢者まで、町民が暮らしやすいまちを築き、まちの良さをアピールすることで、首都圏などからファミリー層やシニア層の移住を促していく。玉村町の優れた子育て・教育環境に加えて、地域資源である農業や歴史的建築物などを活かして来訪者を増やすとともに、町民と来訪者の交流の場を充実させて、交流を広げて移住につなげていく。農業や歴史的建築物に触れる機会を積極的に提供することで、玉村町での暮らしに対する関心を高め、体験移住や週末移住などのトライアルを勧めていく。さらに、首都圏などのファミリー層やシニア層の移住につながる「玉村町版の生涯活躍のまち」の実現に向けて研究を行う。



#### ① 農業体験プログラムの提供 (経済産業課・経営企画課)

##### 【施策内容】

ガーデニング指導、農業体験などの「農」に関する体験プログラムを用意し、「農」に関心のある首都圏のファミリー層やシニア層を集める。イベント的な講習会や収穫祭などの交流活動への参加から、貸し農園の提供を通じて定期的な来訪を促し、さらに発展させて、体験移住や週末移住を促し本格的な移住を実現していく。

##### 【主要事業】

- ・ガーデニングや農業体験のプログラムの作成
- ・ガーデニングや農業体験の講習会・収穫祭などの開催
- ・貸し農園の提供

##### 【推進体制】

オープンガーデン実践者、農家の有志、玉村町が中心となり推進組織を設ける。



#### ②古民家を活用した交流施設の提供 (経済産業課・経営企画課)

##### 【施策内容】

蔵や古民家などの歴史的建築物をカフェやショップなどに改修し、町民と来訪者との交流の場として提供する。さらに、農業体験などの参加者などが宿泊できるよう、古民家を移住体験施設に改修する。古民家の移住体験施設への改修に際しては、一般社団法人移住・交流推進機構のアドバイスを受けるとともに、同機構のホームページ等に掲載して利用を促す。

##### 【主要事業】

- ・蔵や古民家の再生と活用（再掲）
- ・古民家の移住体験施設への改修
- ・一般社団法人移住・交流推進機構のホームページ等への掲載

##### 【推進体制】

玉村町が蔵や古民家を交流の場や移住体験施設に改修する。



#### ③「玉村町版生涯活躍のまち」構想づくり (健康福祉課・経営企画課)

##### 【施策内容】

ファミリー層からシニア層までの幅広い年齢層が玉村町に移住するよう、「玉村町版

<p>の生涯活躍のまち」のあり方について研究を行う。</p> <p>玉村町は、子育て・教育環境の良さ、しごと（雇用機会）の多様さに加えて、四季を楽しむ暮らしができる魅力を備えている。満足度の高い町民の暮らしを見て、移住者が集まる「生涯活躍のまち」となるよう、独自の構想づくりを行う。</p>
<p><b>【主要事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉村町、町内企業、有識者等による研究会の開催</li> <li>・玉村町の暮らしを紹介する映画作成に向けた検討</li> </ul>
<p><b>【推進体制】</b></p> <p>玉村町が中心となり研究を行う。</p>

### 【3】重要業績評価指標（KPI）

#### 1) 「子育てしやすいまちづくり」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①子育て支援体制の充実</b>		
・子育て世帯の年間転入件数	121 世帯（H26）	130 世帯（H31）
・地域子育て支援センター年間利用者数	人（H26）	人（H31）
<b>②国際教育の充実</b>		
・英語教育講習会の年間延べ受講者数	0 人（H27）	150 人（H31）

#### 2) 「家族形成支援の充実」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①レクリエーション活動を通じた交流機会の提供</b>		
・レクリエーション活動への独身者参加者数	29 人（H27）	80 人（H31）

#### 3) 「誰もが暮らしやすいまちをつくり移住を促す」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①農業体験プログラムの提供</b>		
・農業体験プログラムの延べ参加者数	0 人（H27）	50 人（H31）
<b>②古民家を活用した交流施設の提供</b>		
・移住体験施設数	0 箇所（H27）	2 箇所（H31）
<b>③「玉村町版生涯活躍のまち」構想づくり</b>		
・玉村町版の生涯活躍のまち構想の策定	－（H27）	策定済み（H31）

**(4) 政策分野：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**

**【1】基本目標**

**【基本目標】**

玉村町は、高崎市、前橋市、伊勢崎市に隣接しており、周辺都市へのアクセス性を向上させることで、通勤や通学がしやすいまちとしていく。玉村町の公共交通の中心はバスであり、周辺都市と連絡するバス、町内のバスを充実させることで、玉村町のベッドタウンとしての価値を高め、転出者の抑制と転入者の増加を実現する。さらに、平坦な玉村町の地形を活かし、サイクリストを集める街づくりを進める。

また、SNSのような効率的なツールを使用して、玉村町に関する情報発信を強化し、来訪者とその消費額の増加を実現する。

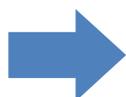
**【基本目標に対する数値目標】**

数値目標	基準値（年度）	目標値（年度）
・年間社会増減数（群馬県移動人口調査）	▼95人（H26）	0人（H31）

**【2】施策**

**1) 「公共交通の充実により転入者を増やす」**

道の駅玉村宿を拠点とし、高崎駅、前橋駅、伊勢崎駅に向けた通勤通学バスを充実させて、公共交通を利用する通勤客、通学客などの利便性を高め、転入者の増加を目指す。



**①町民に対するバスの充実（生活環境安全課・経営企画課）**

**【施策内容】**

道の駅玉村宿を起点として、高崎、伊勢崎、太田などを連絡する国道354号を軸とした広域的な通学・通勤バスの運行を計画する。高崎駅東口などに向かう通勤・通学バスは、自転車通学を行う町内高校生の利便性に配慮したバスとし、さらに、利用者が減少している「たまりん」を含めたバス交通のあり方を見直し、より利便性の高い公共交通を実現していく。また、道の駅玉村宿がまちの玄関口となるよう、町内外の路線バスの運行ルートを集めて、乗り換え拠点（バスハブセンター）としていく。

**【主要事業】**

- ・通勤・通学バスの運行計画の策定
- ・町内のバス交通の再編計画の策定
- ・道の駅玉村宿のバスハブセンター化

**【推進体制】**

玉村町、群馬中央バス、永井運輸などが連携して推進体制を整え、周辺都市にも呼

びかけて通学・通勤バスの運行計画を策定する。

## 2) 「サイクリングで交流人口を増やす」

利根川自転車道などのサイクリングロードや歴史的な街並みや街道がある特長を活かし、自転車による街めぐりが楽しめる街として来訪者の増加を目指す。

### ①サイクリング環境の充実（都市建設課・経営企画課）

#### 【施策内容】

玉村町は平坦な地形であり、自転車の利用に適した町である。さらに、利根川沿いには、東京ディズニーランドに至るサイクリングロードが整備されており、サイクリストを集めやすい環境が整っている。こうした特長を活かし、サイクリストを集める街づくりを行う。サイクリングに関する情報発信、自転車走行に適した道路のネットワーク化、危険箇所の解消などにより、自転車で安全かつ快適に町内を散策できる環境を整える。

#### 【主要事業】

- ・サイクリングの街のPR
- ・サイクリングロードのネットワーク化
- ・段差等の危険箇所の解消、交通安全施設の充実
- ・駐輪スペースの充実
- ・サイクリストへの割引制度の導入

#### 【推進体制】

玉村町がサイクリングロードのネットワーク化や危険箇所の解消などに取り組む。また、商工会や道の駅と連携して、飲食店におけるサイクリストへの割引制度や駐輪スペースの確保に向けた検討を行う。

### ②サイクリング・バイクの立寄拠点化（経済産業課・経営企画課）

#### 【施策内容】

道の駅玉村宿を路線バスの起点とするとともに駐輪設備を整えて、自転車とバスを乗り継いで通勤通学する「サイクルアンドバスライド」を促す。また、町外から路線バスで玉村町を訪れ、道の駅玉村宿から「ポタリング（自転車による散策）」ができるよう、道の駅玉村宿にレンタサイクル機能を設ける。さらに、サイクリング客やツーリング客が休憩しやすい道の駅となるよう駐輪設備等を整え、立寄り拠点化を図る。

#### 【主要事業】

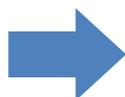
- ・サイクルアンドバスライドの実施
- ・レンタサイクルの提供
- ・サイクリング、ツーリングの立寄拠点化
- ・駐輪場の整備
- ・誘導サインの整備

#### 【推進体制】

玉村町、道の駅、群馬中央バス、永井運輸が連携して、サイクルアンドバスライドの普及を図る。さらに、玉村町と道の駅が協力して、サイクリング客、ツーリング客、ビジネス客の立寄りに必要な設備を整える。

### 3) 「SNS等を活用した情報発信」

ソーシャル・ネットワーキング・サービスなど、手軽に情報発信ができる情報媒体を活用して、玉村町の魅力を町内外に発信し、来訪者を増やすとともに、住民への情報共有を目指す。



#### ①情報発信に向けた人材の確保（経済産業課・経営企画課）

##### 【施策内容】

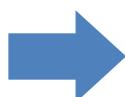
総務省の「地域おこし協力隊」や国土交通省の「道の駅」と大学の連携による就労体験型実習などを受け入れ、玉村町の情報発信に向けた人材を確保する。

##### 【主要事業】

- ・地域おこし協力隊の募集
- ・道の駅玉村宿と大学との連携による就労体験型実習の活用

##### 【推進体制】

玉村町が地域おこし協力隊制度等を活用し、情報発信や地域活性化に取り組む人材を確保する。



#### ②情報発信の基盤づくり（経済産業課・経営企画課）

##### 【施策内容】

玉村町の公園、神社、寺院、蔵、飲食店、特産品、散策・サイクリングコースなどの観光情報を町内外に発信するため、地域おこし協力隊員を中心とした推進体制を整える。さらに、安価で効果的な情報発信の方法や関心を集めるコンテンツのあり方などを検討し、情報発信の基盤づくりを進める。

##### 【主要事業】

- ・玉村町のPRに取り組む組織づくり
- ・玉村町のPR方針づくり（情報媒体、情報発信の考え方など）

##### 【推進体制】

情報発信に詳しい地域おこし協力隊員と、行政、農業団体、商業団体が連携し玉村町のPRに向けた推進組織を整える。



#### ③情報発信のコンテンツ（情報の中身）づくり（経済産業課・経営企画課）

##### 【施策内容】

食に関する情報や美しい風景など、集客につながるテーマについて情報発信ができるよう、玉村町のPRサイトとSNSを立ち上げるとともに、写真や動画などの視覚情報を蓄積する。さらに、写真や映像のコンテストを開催して、魅力的な視覚情報を集め玉村町のPRを行う。

<p><b>【主要事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内有志でのコンテンツづくり</li> <li>・フォトコンテスト、映像コンテストによる情報発信</li> </ul>
<p><b>【推進体制】</b></p> <p>地域おこし協力隊員、行政、農業団体、商業団体からなる情報発信推進組織が中心となりコンテンツづくりを進める。</p>

### 【3】重要業績評価指標（KPI）

#### 1) 「公共交通の充実により転入者を増やす」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①町民に対するバスの充実</b>		
・通勤・通学バスの1日あたりの運行便数	－便（H27）	4便（H31）

#### 2) 「サイクリングで交流人口を増やす」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①サイクリング環境の充実</b>		
・駐輪スペースを備える飲食店数	0店（H27）	5店（H31）
<b>②サイクリング・バイクの立寄拠点化</b>		
・サイクルアンドバスライド年間延べ利用者数	0人（H27）	2,500人（H31）
・レンタサイクル年間延べ利用者数	－（H27）	1,000人（H31）

#### 3) 「SNS等を活用した情報発信」

重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（年度）
<b>①情報発信に向けた人材の確保</b>		
・地域おこし協力隊員	0人（H27）	4人（H31）
・就労体験型実習生数	0人（H27）	5人（H31）
<b>②情報発信の基盤づくり</b>		
・情報発信推進組織の構成メンバー	0人（H27）	15人（H31）
<b>③情報発信のコンテンツ（情報の中身）づくり</b>		
・写真コンテストの応募者数	19人（H26）	30人（H31）
・SNSのフォロワー数	50人（H27）	1,000人（H31）

## 4. 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進と検証

### (1) 総合戦略の実現に向けた取り組み

総合戦略に示した施策や事業は、推進体制に示したように、商工団体、金融機関、民間企業などと連携して情報共有を進めるとともに、地域おこし協力隊などの国の制度を活用して、行動力のある人材を確保して実施体制を強化していく。また、施策や事業を実行するための財源は、国の財政的支援制度を積極的に活用していく。

### (2) 計画的な推進と検証に向けたPDCAサイクルの導入

「まち・ひと・しごと創生法」の第8条では、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況に関して、客観的な指標を設定すべきとしている。本町の総合戦略では、基本目標に対しては数値目標を、施策に対しては重要業績評価指標と目標値を設定している。

基本的には平成31年度における目標値を設定しており、施策や事業の進捗状況を毎年確認するとともに、社会環境の変化などに応じて審議会を開催し、基本目標が実現できるよう施策や事業の内容を改善していく。PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（検証）、ACTION（改善）のPDCAサイクルを回し、総合戦略を実現していく。